

R07 阿見町温水プール基本設計業務公募型プロポーザル評価基準

1 評価基準に関する基本的な考え方

阿見町温水プール基本構想及び基本計画を策定する過程で様々な課題が整理された。設計段階の課題としては、環境性能の確保と建築コスト抑制の両立、整備に係る財源の確保、限られた面積の中で満足度を高める施設設計の工夫、工事段階の課題としては学校への影響や工期短縮が挙げられた。

設計段階の課題のうち技術的な部分について、実績のある民間事業者から提案を求める。

2 評価項目

	評価項目	評価基準	配点
①	環境性能に関する提案	<ul style="list-style-type: none"> 環境性能の向上が追求され、光熱水費削減の効果が高い 具体的な根拠が示され、実現性の見込める提案となっている 	5点
②	建築コスト抑制に関する提案	<ul style="list-style-type: none"> 一定の質を確保した上で建築コストを抑える提案がなされている 具体的な根拠が示され、物価高騰や労務単価上昇も考慮されており、実現性の見込める提案となっている 建物の耐用年数や安全性なども考慮されている 	10点
③	満足度を高める施設設計の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 町の方針を把握・評価した上で、利用者・運営者・教育現場の目線から独自の考えが示されている 面積を抑えた中で満足度を高める工夫がされている 	10点
④	実績・体制	<ul style="list-style-type: none"> 公共（市区町村、都道府県、一部事務組合等）の温水プール設計業務の受注実績、行政側と意思疎通を取りながら目的を達成することに関して十分な経験を有している 温浴施設（民間を含む）設計業務の受託実績がある 類似業務の経験者を主要な役割に据えている 提案した内容を着実に遂行できる体制が整っている 	10点
⑤	見積額	<ul style="list-style-type: none"> 基本設計業務の見積額、実施設計業務及び監理業務を受託した場合の見積額は妥当である 	5点
⑥	総合評価	<ul style="list-style-type: none"> 表面的なプレゼンテーションではなく、裏付けとなる経験や根拠に基づく芯の通った提案となっている 町の課題や強みを理解した上で十分に練られた提案となっている 質疑応答の対応力は優れている 	10点
合計			50

3 評価方法

各審査員が採点を行い、最も合計点の高かった事業者を本業務に最適な候補者として選定し、2番目に高かった事業者を次点者として選定する。同点となった場合、審査委員会の協議により決するものとする。